

令和 7 年度フォローアップ実地調査実施要項

令和 7 年 9 月 22 日
教員養成フラッグシップ大学推進委員会

I. 調査の概要

1. 目的

実地調査は、教員養成フラッグシップ大学推進委員会（以下「推進委員会」という。）が教員養成フラッグシップ大学（以下「フラッグシップ大学」という。）の学生を含む関係者との質疑応答及び教育現場の視察等を行い、取組の進捗状況等を確認するとともに、必要に応じて助言を付すことにより、成果の展開に向けたフラッグシップ大学の先導的・革新的な取組の確実な実施を促すことを目的とする。

2. 実施方法

推進委員会が現地に赴き、フラッグシップ大学から提出された書面報告及び事前に示す確認事項に基づき、取組の進捗状況の詳細等について説明を受けるとともに、教職員及び学生等との質疑応答並びに教育現場・施設の視察を行う。

3. 参加者

[調査者]

推進委員会に属する委員 2 名以上で実施する。

[フラッグシップ大学]

- ・フラッグシップ大学関係者（責任者）
- ・フラッグシップ特例科目、教職科目を担当する基幹教員、その他の教職員
- ・フラッグシップ特例科目、教職科目を受講した学生
- ・その他

[その他]

- ・他のフラッグシップ大学の教職員

4. 実施日程

- 11月10日（月）東京学芸大学
- 12月 1日（月）大阪教育大学
- 12月 2日（火）兵庫教育大学
- 12月10日（水）福井大学

5. 実施項目及び内容

3年目評価を踏まえた対応に加え、新しい教職課程の在り方とその全国展開についてを中心に実施する。

① フラッグシップ大学関係者（責任者）からの説明

調査者は、フラッグシップ大学関係者（責任者）等から、3年目評価を踏まえた対応事項及び事前に提示した確認事項を中心に取組の進捗状況等の説明を受け、取組の実施状況を把握する。

② フラッグシップ特例科目、教職科目を担当する基幹教員、その他の教職員との意見交換

調査者は、特例科目、教職科目を担当する教職員等との意見交換により、実際の教育研究活動の状況等を把握する。

③ フラッグシップ特例科目、教職科目を受講した学生との意見交換

調査者は、特例科目、教職科目を受講した学生との意見交換により、履修の状況等を把握する。

④ フラッグシップ大学の授業・施設等の見学

調査者は、フラッグシップ大学からの説明を受けながら、特例科目・教職科目等の授業と取組に関連する施設等の視察をし、環境等の調査を行う。

⑤ フラッグシップ大学関係者（責任者）との意見交換

調査者は、実地調査を通じた所見を伝えるとともに、フラッグシップ大学関係者（責任者）との意見交換を行う。

⑥ その他、推進委員会が必要と判断する事項

6. 他のフラッグシップ大学の教職員

フラッグシップ大学間の連携・協働を推進するため、他のフラッグシップ大学の実地調査にも同席を依頼する。

II. 調査実施後の対応

1. 大学担当委員は、実地調査の結果をまとめ、別紙1の報告書を作成し、委員会で報告する。

2. 推進委員会は、実地調査の報告書等により、必要に応じて別紙2の委員会助言をとりまとめる。

参考．実地調査スケジュール（例）

以下のスケジュールは一例であり、実際は調査内容等により異なる。

	委員フラッグシップ大学到着
12:45-13:00	委員事前打ち合わせ（約 15 分）
13:05-13:50	① フラッグシップ大学関係者（責任者）からの説明（15 分） ② 教職員との意見交換（30 分）
	移動
14:00-14:30	⑤フラッグシップ大学の授業・施設等の見学（30 分）
	移動
14:40-15:10	③学生との意見交換（30 分）
15:15-15:30	⑦フラッグシップ大学関係者（責任者）との意見交換（15 分）
15:40-15:55	委員事後打ち合わせ（約 15 分）
16:00	調査終了、フラッグシップ大学出発

その他、大学からの提案を踏まえ推進委員会が必要と判断する方法にて実施する。

令和 7 年度 教員養成フラッグシップ大学フォローアップ実地調査報告書

教員養成フラッグシップ大学推進委員会

大学名	〇〇大学	調 査 日	令和 7 年 月 日 ()
調 査 委 員			

大学関係者（責任者）からの説明

教職員との意見交換（○：委員、■：教職員）

学生との意見交換（○：委員、■：学生）

大学関係者（責任者）との意見交換（○：委員、■：大学側）

令和 7 年度教員養成フラッグシップ大学推進委員会助言（参考）

全体／〇〇大学への助言

○

○

○

○

○

○